

話題の店舗形態

注目を集める“公園内ベーカリー” 「パンとエスプレッソと」の新店舗が 緑豊かな千葉公園にオープン

表参道のベーカリーカフェ「パンとエスプレッソと」をはじめ、国内に30店舗展開する㈱日と々と(東京都渋谷区神宮前、山本拓三社長)は、「パンとエスプレッソと千葉公園」を本年4月にオープン、連日賑わいを見せている。木々に囲まれた立地、日本庭園のある茶室をリニューアル活用するなど、自然との融合を意識した店舗が話題となっている。



ひっそりと佇む茶室「好日亭」をリニューアルしたカフェ棟



『フラットクロワッサン』はチョコレート&ナッツのトッピングが華やか



公園の池を一望できる日本庭園もあり、ゆったりとした時間を過ごせる



木々に囲まれたベーカリー棟。自然に溶け込む外装が印象的



トレンドとなった『ニューヨークロール』も定番人気

パンとコーヒーと一緒に“日常のほんの少しの贅沢を味わうことができる空間”を目指す同社は、パンをテイクアウトして風景とともに楽しめる、“公園ベーカリー”を牽引する存在だ。これまで大阪・靱公園、浅草・隅田公園に店舗を展開し、それぞれ好調を維持している。

新たに千葉公園内にオープンした店舗は千葉都市モノレール千葉公園駅を降りてすぐ、樹木に囲まれた閑静な憩いエリア「芝庭」内に位置する。出店に際し同社がこだわったのは、テナントが並ぶスポットをあえて外すこと、千葉市が管理する1989年築の茶室「好日亭」を借用すること。粘り強い交渉の結果、いずれも希望が叶い出店を決めたという。木々の間を縫うように新築されたベーカリー棟、畳にテーブル&チェアという和モダンなインテリアで日本庭園が臨めるカフェ棟など、自然を感じながらゆったりとした時間を過ごせる、まさに公園内ベーカリーならではの楽しみ方ができる形態といえる。

クロワッサンを中心としたラインアップの充実で知られる同店だが、新メニュー『フラットクロワッサン』の注目度は高く、1日20～30枚が焼き上がってすぐ完売状態となる一番の人気商品。また店舗の特性から、その場ですぐに食べられ満足感のあるサンドイッチや総菜パン、見た目に華やかさのあるパンも人気で、ピクニックセットも好評だ。

社名である「日と々と」と、茶室の「好日亭」には「毎日毎日が素晴らしい」という共通の意味がある。お客様の日常を豊かにする場所でありたいという願いを込め、こだわりをもった食材での商品展開、新たな発見の提供、公園店舗ならではのサービスを追求していく。

【店舗概要】「パンとエスプレッソと千葉公園」／住所：千葉県千葉市中央区弁天3-1 千葉公園内 [カフェ] 043-304-6230 [ベーカリー] 043-307-6080 営業時間：10:00～18:00 (不定休)